

第 31 回交通工学研究発表会 開催のお知らせ

第 31 回交通工学研究発表会につきましては、各分野の研究者・実務者から多数の論文報告を頂き、下記のとおり開催する運びとなりました。今回は東日本大震災を受け、1 日目の午後に特別企画・震災セッションを開催致します。会員の皆様方をはじめ関係各位多数のご聴講と活発なご意見の交換を期待しておりますので、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

なお、研究発表セッションの中では前年度に終了した自主研究の成果報告、デモンストレーション会場では現在活動中の自主研究をパネル展示致します。この機会に研究発表会にご参加の方々にも交通工学研究会の活動を知って頂く機会として、多くの方々にご参会いただきますようご案内いたします。

1. 主 催 : 一般社団法人 交通工学研究会
2. 開 催 日 : 平成 23 年 9 月 20 日 (火) ~ 21 日 (水)
3. 会 場 : 東洋大学 白山第二キャンパス B 棟 (地図参照)
東京都文京区白山 2-36-5 TEL 03- 5844-2400 (代表)
(アクセス) 都営地下鉄三田線白山駅 A1 出口より徒歩 6 分、東京メトロ南北線本駒込駅 1 番出口より徒歩 10 分
4. 参 加 費 : 発表者、聴講者、震災セッションのみの方も共通
会員 6,000 円 一般 9,000 円 学生会員 3,000 円 (いずれも論文集代 (CD-ROM)、消費税を含む)
5. 申込方法 : 申込書参照 (事前にお申込み願います。)

— 特別企画 震災セッション —

平成 23 年 9 月 20 日(火) 15:05~ (第一会場)

「東日本大震災 初動期の対応、現在の復旧状況、今後につなげるためには・・・」

◆プログラム

- 15:05-15:50 震災直後の初動対応について(仮)
国土交通省 東北地方整備局 道路部 道路調査官 林崎吉克
- 15:50-16:35 震災から復旧を目指して(仮)
岩手県 環境生活部 県民くらしの安全課 食の安全安心課長 白岩利恵子
- 16:35-16:50 今後につなげるためには(仮)
東北大学大学院 情報科学研究科 教授 桑原雅夫
- 17:00-17:50 パネルディスカッション
上記 3 名の講師に加え、コーディネーターとして岩手県立大学 総合政策学部 教授 元田良孝
(プログラムの内容・講師等については、一部変更になる場合がございますのでご了承ください。)

— 交通工学研究会 自主研究活動報告 —

交通工学研究会では、公益事業の一環として自主研究を行っています。平成 22 年度末で終了した自主研究は交通工学研究発表会のセッション内で口頭報告されます。また、デモンストレーション会場では、平成 23 年度活動中の自主研究をパネル展示によりご報告いたします。研究発表会プログラムのデモンストレーションの時間帯には、自主研究グループの専任説明員を配し、活動経過を説明いたします。今回ご報告する自主研究は下記のとおりです。

<口頭報告:9月20日11:20~ 第二会場>

1. 性能照査型道路計画設計のための交通容量とサービス水準に関する研究 (代表:中村英樹/名古屋大学)【特定課題研究】

<パネル展示:デモンストレーション会場>

1. 交差点の自転車空間ガイドラインの研究 (代表:松原淳/交通エコロジー・モビリティ財団)
2. 交差点事故ハザード評価法の新規開発と個人対応型対策の実証的研究 (代表:朴啓彰/高知工科大学)

— 交通工学研究発表会 懇親会 —

交通工学研究発表会では、参加者及び会員相互の親睦を深めることを目的に懇親会を行っており、毎回ご出席された皆様方には大変ご好評を頂いております。今年は被災地の銘酒をご用意しております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

開 催 日 : 平成 23 年 9 月 20 日 (火) 18:15 より

会 場 : 東洋大学 白山第二キャンパス 学生食堂 C 棟 2 階

会 費 : 3,000 円 (立食形式です。当日懇親会場にて現金でお支払い願います)

申込方法 : 申込書参照

お申込み・お問い合わせ

一般社団法人 交通工学研究会

<http://www.jste.or.jp/>

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MK ビル 5 階 Tel 050-5507-7153 Fax 03-6410-8718

○参加希望の方は必ず事前にお申込みをお願い致します○

第 31 回交通工学研究発表会 参加申込書

申込先 Fax 番号：03-6410-8718

勤務先住所	〒				《電話番号》
勤務先名称					
参加者氏名	所属部課名	会員区分(○印)	会員番号	懇親会参加(○印)	
		正会員・特別会員 学生会員・非会員		する・しない	
		正会員・特別会員 学生会員・非会員		する・しない	
		正会員・特別会員 学生会員・非会員		する・しない	
その他(請求書発行に関するご要望など)					

- ①9月上旬より順次、論文集(CD-ROM)と共に見積書・請求書・納品書及び参加カード等書類をお送りいたしますので、お手元に書類が届き次第、ご確認をお願いいたします。
開催日の1週間前になっても書類が届かない場合は事務局までご連絡ください。
参加カードは当日、名札と引換となりますので、必ずお持ち下さい。
- ②お申込後、本人が止むを得ない理由により参加できなくなった場合、または代理の方に変更される場合は、9月16日までに、必ず事務局にご連絡をお願いいたします。
当日ご欠席のでも、参加費のお支払いをお願いいたします。
- ③お支払いは、郵便振替または銀行振込よりお手続き願います(どちらも振込手数料はご負担願います)。
当日のお支払はご遠慮願います。
9月12日以降にお申込みの方への論文集(CD-ROM)及び書類等一式は当日渡しとなりますので、直接受付にお越し下さい。

会場案内図 住所：東京都文京区白山 2-36-5



交通のご案内

- 最寄り駅●
 - ・都営地下鉄三田線 白山駅
A1 出口より 徒歩 6 分
 - ・東京メトロ南北線 本駒込駅
1 番出口より 徒歩 10 分
- 乗り換え案内●
 - ・東京駅から(約 25 分)
都営三田線大手町駅(JR 東京駅丸の内北口より地下通路徒歩約 10 分)→都営三田線→白山駅
 - ・品川駅から(約 35 分)
京浜急行線品川駅→京浜急行線(都営浅草線直通)→三田駅→都営三田線→白山駅
 - ・羽田空港から(約 65 分)
京浜急行線羽田空港駅→京浜急行線(都営浅草線直通)→三田駅→都営三田線→白山駅

第31回交通工学研究発表会 第1日目【2011年9月20日(火)】プログラム

○は発表者

《第一会場》

《第二会場》

《第三会場》

《第四会場》

1.「交通制御・交通規制」
座長：藤田 素弘（名古屋工業大学）
副座長：田名部 淳（㈱地域未来研究所）

5.「交通流、交通容量・サービス水準（1）」
座長：秋山 孝正（関西大学）
副座長：林 正幸（東日本高速道路㈱）

9.「交通需要予測と施策評価（1）」
座長：谷口 守（筑波大学）
副座長：松本 幸正（名城大学）

13.「自転車交通」
座長：蓮花 一己（帝塚山大学）
副座長：橋本 成仁（岡山大学）

9:30	1 集計QKならびにローカルPを組み合わせたランプメーキング制御の提案 ○松本 洋輔 吉井 稔雄	愛媛大学 愛媛大学
9:55	2 歩行者信号表示に着目した車両挙動分析 ○小出 啓明 大口 敬 鹿田 成則 小根山 裕之	東京大学 東京大学生産技術研究所 首都大学東京 首都大学東京
10:20	3 高速道路における降雨時の実勢速度 (実務論文)	○森 健二 矢野 伸裕 横関 俊也 牧下 寛
10:45		科学警察研究所 科学警察研究所 科学警察研究所 科学警察研究所
10:55	4 東京マラソンにおける交通対策等の推移について (実務論文)	○吉田 豊 時任 瑞穂
11:20	5 首都高速道路における大規模交通規制時の影響分析 (実務論文)	○中村 司 内海 和仁 割田 博 稲富 貴久
11:45		首都高速道路㈱ 首都高速道路㈱ 首都高速道路㈱ パシフィックコンサルタンツ㈱

26	都市間高速道路におけるボトルネック交通容量の確率的特性分析 ○小林 正人 中村 英樹 浅野 美帆 米川 英雄	㈱アイトランスポート・ラボ 名古屋大学 名古屋大学 中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋㈱
27	ジャンクションのランプ車道幅幅による交通容量の変化について (実務論文)	○澤田 英郎 安 時亨 松本 晃一
28	車両感知器ハルステータを用いて速度変動への影響要因分析 ○谷口 知己 塩見 康博 宇野 伸宏 嶋本 寛	京都大学 京都大学 京都大学 京都大学
29	都市高速道路のランプ間OD交通量に旅行時間が与える影響の実証分析 ○上田 大樹 井料 隆雅 朝倉 康夫	神戸大学 神戸大学 東京工業大学
自主研究	性能照査型道路計画設計のための交通容量とサービス水準に関する研究【特定課題研究】 中村 英樹 (研究グループ代表)	名古屋大学

50	動的OD交通量推計手法のレビュー ○安藤 正幸 高山 純一 中山 晶一朗	㈱日本海コンサルタント 金沢大学 金沢大学
51	首都高速道路における車種別利用者均衡配分モデルの適用検討 (実務論文)	○古賀 浩樹 鈴木 裕介 加藤 昌樹 森田 純之
52	高速道路利用データを活用した高速道路の短期的需要変動に関する研究 ○中沢 航太 佐々木 邦明	首都高速道路㈱ 首都高速道路㈱ (一財)計量計画研究所 日本大学総合科学研究所 山梨大学 山梨大学
53	交通施策シミュレータ IMPACT ○日高 健 森 博子 北岡 広宣	㈱豊田中央研究所 ㈱豊田中央研究所 ㈱豊田中央研究所
54	トリップチェーンを考慮した分担配分統合モデルを用いた公共交通施策評価～各時間帯の運行頻度の変更を例として～ ○樋口 貴士 嶋本 寛 宇野 伸宏 塩見 康博	京都大学 京都大学 京都大学 京都大学

75	群集歩行シミュレータのための自転車モデルの開発とその適用 ○安藤 栄祐	原田 英治 後藤 仁志 山形 佑 〇安藤 栄祐
76	自転車通行可の歩道上における自転車・歩行者の通行位置に関する分析 ○小川 圭一	立命館大学
77	自転車通行帯の安全性改善のための速度分離方策に関する実験的調査研究 ○佐野 智哉 日野 泰雄 吉田 長裕 辰見 彰啓	㈱建設技術研究所 大阪市立大学 大阪市立大学 兵庫県警察本部
78	自転車走行経路・流動の分析手法に関する試案と適用～高松市中心部をケーススタディとして～ ○鈴木 清 土井 健司 神田 佑亮 土崎 伸	国土交通省香川河川国道事務所 香川大学 ㈱オリエンタルコンサルタンツ ㈱オリエンタルコンサルタンツ
79	コミュニティサイクルと放置自転車対策の需要マッチング推計からみたコスト削減効果に関する研究 (実務論文)	○児玉 健 土屋 愛自 金 希津
		日建設計総合研究所 さいたま市 日建設計総合研究所

デモンストレーション & 自主研究活動報告《デモ有り》表示のある発表(両日分)及び自主研究活動のパネル展示を行います。 於)デモ会場

2.「交通安全（1）」
座長：中村 英樹（名古屋大学）
副座長：岡本 晃（警視庁交通規制課）

6.「交通流、交通容量・サービス水準（2）」
座長：赤羽 弘和（千葉工業大学）
副座長：宇野 伸宏（京都大学）

10.「交通需要予測と施策評価（2）」
座長：朝倉 康夫（東京工業大学）
副座長：佐々木 邦明（山梨大学）

14.「交通と環境」
座長：土井 健司（香川大学）
副座長：小根山 裕之（首都大学東京）

13:15	6 新疆ウイグル自治区の砂漠気候による道路交通安全への影響 ○スルビカール クレム 日野 泰雄	大阪市立大学 大阪市立大学
13:40	7 太陽の眩しさが歩行者事故に与えた影響の分析 (実務論文)	○萩田 賢司 森 健二
14:05	8 歩行者の交通事故対策に向けた服飾からのアプローチ 橋本 成仁 〇岩本 大地 吉城 秀治	岡山大学 岡山大学 岡山大学
14:30	9 食い違いを含む変形T字交差点における安全対策事例-奈良県交通事故安全対策委員会の取り組み- (実務論文)	蓮花 一己 飯田 克弘 小松 順 〇篠原 昌弘
14:55		帝塚山大学 大阪大学 奈良県 ㈱修成建設コンサルタント

30	地点レベルのサービスの質の空間的分布特性に関する研究 ○河内 朗 喜多 秀行	㈱長大 神戸大学
31	道路縦断勾配を考慮したBPR関数による旅行時間の推定 ○安藤 正幸 高山 純一 中山 晶一朗	㈱日本海コンサルタント 金沢大学 金沢大学
32	高速道路における工事規制区間の短縮化による渋滞対策効果検証 (実務論文)	○近田 博之 平井 章一 Jian Xing 高橋 秀喜
33	片側3車線区間におけるLED標識を用いた車線利用率平準化渋滞対策の効果検証 〇Jian Xing 鶴 元史 石田 貴志 村松 栄嗣	(財)高速道路調査会 (財)高速道路調査会 (財)高速道路調査会 中日本高速道路㈱ (財)高速道路調査会 (財)高速道路調査会 ㈱道路計画 東日本高速道路㈱

55	都市高速道路の実証的料金設定についての方法論的研究 ○浅原 麗 秋山 孝正 井ノ口 弘昭	関西大学 関西大学 関西大学
56	高速道路料金政策による地方都市圏の交通流動への影響分析手法の提案 ○堀 広毅 奥嶋 政嗣	徳島大学 徳島大学
57	高速道路交通需要の料金弾力性に着目したETC導入の影響に関する実証的分析 ○石井 良治 福田 大輔	東京工業大学 東京工業大学
58	大型車速度抑制装置(スピードリミッタ)装着義務化の規制影響分析 (RIA) (実務論文)	○小林 貴 今長 久 鹿島 茂
		神奈川県 日本自動車研究所 中央大学

80	信号残秒時間を活用したライドリングストップ支援システムの構築 (実務論文)	○塚田 悟之 山田 勝規
81	燃料消費率に基づく自動車運転特性の効率性分析 ○山本 航 塚井 誠人 桑野 将司	広島大学 広島大学 神戸大学
82	道路交通データを用いた道路交通からのCO2排出量推計モデルの構築に向けた基礎的研究 ○土肥 学 曾根 真理 瀧本 真理	国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所
83	都市の集約パターンが環境負荷に与える影響に関する研究 ○水本 斉 森本 章倫	宇都宮大学 宇都宮大学

特別企画 震災セッション（9月20日(火) 15:05～ 第一会場）

「東日本大震災 初動期の対応、現在の復旧状況、今後につなげるためには・・・」

15:05	「東日本大震災」の対応について 国土交通省 東北地方整備局 道路部 道路調査官 林崎 吉克
15:50	東日本大震災津波 ～震災から復興を目指して～ 岩手県 環境生活部 県民くらしの安全課 食の安全安心課長 白岩 利恵子
16:35	減災 東北大学大学院 情報科学研究科 教授 桑原 雅夫
16:50	パネルディスカッション 上記3名の講師に加え、 コーディネーターとして 岩手県立大学 総合政策学部 教授 元田 良孝
17:50	(プログラムの内容・講師等については、一部変更になる場合がございますのでご了承ください。)

自主研究活動報告 及び パネル展示

<p>交通工学研究会(以下、JSTE)では、公益事業の一環として自主研究を行っています。自主研究とは、JSTEが会員の協力のもとで独自に自主的に取り組む研究です。平成15年度より自主研究テーマの公募制度を開始し、自主研究に広く会員の参画を募ることで、JSTEにおける研究活動のさらなる活性化を図っており、本年も研究発表会の場において、自主研究活動報告を行います。</p> <p>平成22年度末で終了した自主研究についてはセッション内で口頭報告致します。</p> <p>平成23年度活動中の自主研究についてはデモンストレーション会場にて、パネル展示によりご報告いたします。また、研究発表会プログラムのデモンストレーションの時間帯には、自主研究グループの専任説明員を配し、活動経過を説明いたします。</p> <p>研究発表会の場を活用し研究内容を広く知っていただくと共に、参加者のみなさまと意見交換の場を持ち、当会の自主研究活動をご理解いただければ幸いです。</p> <p style="text-align: right;">交通工学研究会 自主研究小委員会</p>
<p>＜口頭報告：9月20日11:20～ 第二会場＞</p> <p>1. 性能照査型道路計画設計のための交通容量とサービス水準に関する研究（代表：中村英樹/名古屋大学）【特定課題研究】</p> <p>最終年度である平成22年度は、前年度に引き続き、重点項目である道路構造令との対応、性能目標水準設定の考え方、区間での性能照査手法の体系的揭示、上位ネットワーク計画との整合、条件によって変化する交通性能(交通容量とサービス水準)、交通性能指標の検討、性能向上メニューと改善効果の揭示、などについて更に検討を進め、性能照査型道路技術指針(案)の提言として、取りまとめることを目標とした。</p>
<p>＜パネル展示：デモンストレーション会場＞</p> <p>1. 交差点の自転車空間ガイドラインの研究（代表：松原淳/交通エコロジー・モビリティ財団）</p> <p>「交差点の自転車空間ガイドラインの研究」について自転車空間は交差点部で評価が異なる懸念がある。そこで交差点における課題を整理すること、これまでの知見の整理を進めている。また、交通工学研究会の平面交差点メンバーと連携し、メンバーの補強を実施している。今後、海外の知見も生かし交差点における自転車空間整備のポイントを提言としてまとめることを目標に研究を進める。</p> <p>2. 交差点事故ハザード評価法の新規開発と個人対応型対策の実証的研究（代表：朴啓彰/高知工科大学）</p> <p>健康中高年者ドライバを対象に、MRIの脳計測データ(白質病変グレード評価等)と、事故歴アンケート調査、CRT運転適性検査、車両ならび運転者自身の運転挙動データ等に基づいて、運転適性DBを作成し、個人に対応したドライバナビゲーションや信号機・道路標識の開発、運転指導指針等の新規ガイドラインの提案などを現地検討する。</p>

